

# 5月2日 心育て通信 No.1

～ 夢にむかって自分らしく輝く子～

No.1

大泉学園は、「自ら学ぶ子（自主） 夢をめざす子（創造） なかよくする子（信愛）」をめざす子ども像として、日々の教育活動を行っています。その中で「なかよくする子（信愛）」をめざした取り組みとして、ふれあい活動を通し、お互いに認め合い共感しあいながら学ぶ「心育て」があります。

IQや学力テストで計測される「認知能力」に対して、一般に「生きる力」と呼ばれる学力テストでは計測することのできない力のことを「非認知能力」と言います。シカゴ大のヘックスマン教授らは、その研究の中で、「誠実である」「社会性がある」「忍耐力がある」「意欲的である」といった非認知能力が、人生において極めて重要であることを強調しています。そして、これらの非認知能力は、「人から学び、獲得するものである」とも言っています。学校は、学力に加えて、学友や大人から多くのことを学び、非認知能力を培う場所でもあります。そのような「心育て」の取り組みを、心育て通信では紹介していきます。

4月から5月にかけては、障がい者理解教育として、各学年で「支援学級出前授業」があり、「特別支援」と「チャレンジ学級」についての理解を深めます。4月27日には2年生、5月1日には1年生で、行われました。実際にソーシャルスキルを育む遊びの体験等もあり、子どもたちは、「もっと知りたい」「またやりたい」と、とても意欲的な学習の時間となりました。



子どもたちの感想文です。

◎チャレンジ学級のことは、最初はよくわからなかったけど、教えてくれたので、よくわかりました。また、教えてほしいです。

◎パラシュートが大きくなって、うれしかったです。またできたらしたいです。

◎「きくちゃん」と「みるちゃん」は、さいごまできけました。

◎チャレンジのことをしれて、たのしかったです。

◎パラリンピックのはなしもしてくれて、よかったです。またあったらしたいです。

◎チャレンジ学級のことがわかりました。また、2年生のチャレンジ学級の人にも教えてもらおうと思います。

◎「みるちゃん」は、家でもかぞくとやりたいです。「パラシュート」は、めっちゃふくらんだときは、びっくりしたけど、かぜがきもちよかったです。

◎「おはなし」がよくわかりました。こんかいは、1時間だったけど、2時間、3時間やりたかったです。またこんなきかいをほしいです。

◎「デカパンきょうそう」もたのしかったし、「パラシュート」もたのしかった。「みるちゃん」もおもしろかった。「きくちゃん」もたのしかった。

◎たのしかったです。ありがとうございます。

